

高齢者用肺炎球菌ワクチンのお知らせ

これまでに肺炎球菌ワクチン（23価）を接種したことがない方で、これから接種をご希望の方は、このお知らせをよくお読みいただき、接種をしてください。

1 定期予防接種の対象者

過去に肺炎球菌ワクチン（23 価）を接種したことがない方で、

下記（1）・（2）のいずれかにあてはまる方

（定期予防接種の対象年齢となるのは、1 回限りです。
再び対象となることはありませんのでご注意ください。）

（1）65 歳の方

（2）60 歳～64 歳の方で、心臓・腎臓・呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害を有する方（身体障害者 1 級程度の方）

※区の助成や自費で過去に肺炎球菌ワクチン（23 価）を接種したことのある方は対象外です。

2 接種できる期間

65 歳の誕生日の前日～66 歳の誕生日の前日

※期限以降に接種する場合は全額自費となります。

※60歳～64歳の場合は、申請のあった年度内。

60歳～64歳は期限以降も未接種の場合は予診票の再発行が可能ですので、係までお問い合わせください。

3 接種回数 1 回

※区の助成や自費で過去に肺炎球菌ワクチン(23 価)を接種したことがない方

4 接種費用 無 料

※脾臓摘出を受けた方は健康保険の対象となるため、該当の方は医師（医療機関）にご相談ください。

5 接種できる場所

渋谷区内の指定医療機関（同封の「接種実施医療機関一覧」参照）

※渋谷区以外の都内 2 2 区の指定医療機関でも接種できます。

（接種を希望する医療機関または該当区の保健所等にお問い合わせください。）

6 接種の受け方

（1）必ず事前に、休診日、予約の有無を医療機関に確認してください。

（2）裏面の「肺炎球菌ワクチンの接種について」を必ずお読みになり、体調の良いときに接種してください。

（3）同封の「高齢者用肺炎球菌予防接種予診票」（3 枚複写）の「年齢」、「質問事項の回答」欄に記入し、医療機関へ 3 枚とも提出してください。（体温は接種当日に医療機関で計ります。）

（4）接種後に医療機関より渡される「高齢者用肺炎球菌予防接種予診票（本人控）」は、接種した記録となりますので、健康手帳に貼るなどして、大切に保管してください。

◆お問い合わせ先◆渋谷区保健所 地域保健課 予防接種係
☎3463-1412（直通）

裏面も必ずお読みください！

肺炎球菌ワクチンの接種について

1 肺炎球菌とは・・・

肺炎を引き起こす原因菌の一つで、成人が日常でかかる肺炎の原因菌としては肺炎球菌が一番多いといわれています。この菌が引き起こす病気には、肺炎のほかにも、気管支炎、副鼻腔炎、中耳炎、髄膜炎などがあります。体力が落ちている時や高齢者など免疫力が弱くなっている人に対して病気を引き起こしやすく、抗生物質に抵抗性をもった肺炎球菌が増えています。

2 肺炎から身を守るには・・・

肺炎に限りませんが、感染症から身を守るためには、外出後などのこまめな手洗い、うがい、バランスのとれた栄養、規則正しい生活と十分な休養・睡眠、体力をつけるための適度な運動といった基本をしっかり守ることが大切です。

高齢者の肺炎には誤嚥によるものも多く、これは、歯磨きなどの口腔ケアと口腔機能を高めることで予防できます。ワクチンの接種も効果的です。肺炎に関するワクチンにはインフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチンがあります。

3 肺炎球菌ワクチンとは・・・

すべての肺炎を防げるわけではありませんが、肺炎球菌による感染症の約40%を予防することができます。接種後、ワクチンの効果があらわれるまでに、平均1か月程度かかります。

副反応として注射した部位が腫れたり、痛んだり、軽い発熱がみられることがありますが、通常3～4日で自然におさまります。なお、自費による再接種により副反応が強くなることもあり、十分な間隔（5年以上）をあけて接種することとされています。

4 肺炎球菌ワクチンとインフルエンザワクチン

肺炎球菌ワクチンは1回の接種で5年以上の長い期間、免疫が持続します。インフルエンザワクチンは毎年接種します。両方接種することでより一層の効果が期待できます。

5 肺炎球菌ワクチンの接種を受ける際の注意

(1) 予防接種を受ける前の注意

予防接種を受ける前に、区から送付されたお知らせをよく読み、気になること、わからないことがあったときは、必ず医療機関や下記担当係にご相談ください。

また予診票は、健康状態などを知る上で重要な情報です。必ず事前に記入して予防接種を受ける医療機関にお持ちください。

(2) 予防接種を受けることができない方

- ① 過去5年以内に肺炎球菌ワクチン（23価）を接種したことがある方
 - ② 明らかに発熱している方（通常は37.5℃以上の場合）
 - ③ 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
（急性の病気で薬を飲んでいるような場合は控えてください。）
 - ④ このワクチンの成分によって、重いアレルギー反応をおこしたことがある方
 - ⑤ その他、医師が予防接種を受けないほうがいいと判断した方
- ①～④に該当しなくても、医師が接種不相当と判断した時は接種はできません。

(3) 接種に注意を要する方

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方
- ② 今までに予防接種を受けた後、2日以内に発熱、全身性発疹などのアレルギーと思われる症状があらわれた方
- ③ 過去にけいれんの既往がある方
- ④ 過去に、免疫不全の診断がなされている方および近親者に先天性免疫不全症の人がいる方
- ⑤ このワクチンの成分に対してアレルギーをおこすおそれのある方

(4) 予防接種を受けた後の注意

- ① 予防接種を受けた日の入浴は差し支えありませんが、接種部位を強くこすったり、はげしい運動をするのは避けてください。
- ② 接種後に発熱したり、接種部位が赤くなったり、腫れたり、痛んだりすることがあります。軽い症状であれば、通常数日中には消失しますので、心配ありません。ただし、体調に変化があったり、高熱が出たり、けいれん、局所の異常反応、などが生じた場合は、速やかに医師（医療機関）の診察をうけてください。

◆お問い合わせ先◆

渋谷区保健所 地域保健課 予防接種係 ☎3463-1412（直通）